Panasonic®

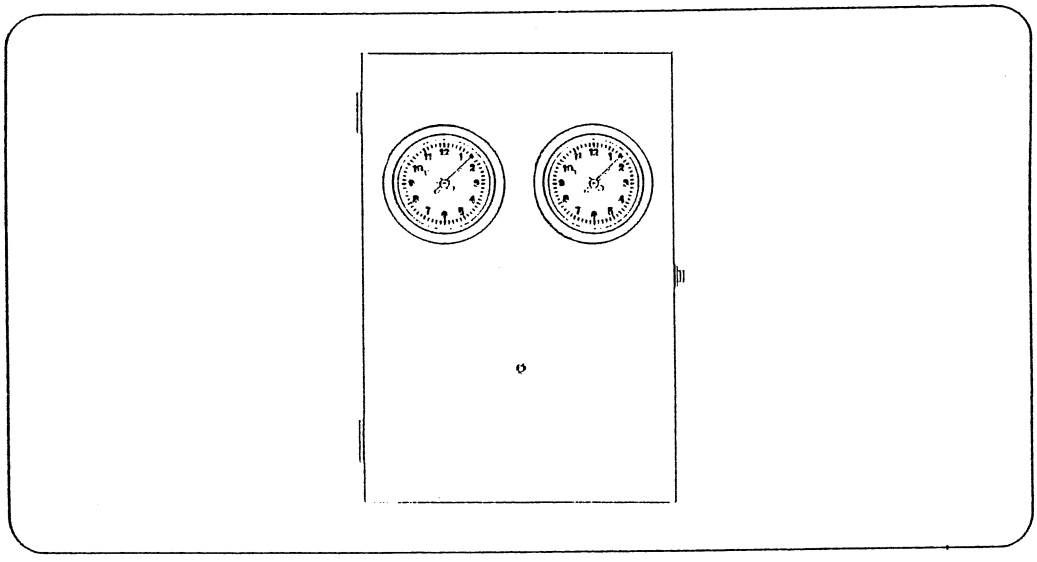
保管用

商品名　壁掛型2回路中継器

品　番　TA5202K

取扱説明書

お客様へ：ご使用前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
この説明書は必ず保管してください。



安全上のご注意

⚠ 注意

○交流100V以外では使用しないでください。
　感電・火災・故障の原因になります。

○分解や改造をしないでください。
　感電・火災・故障の原因になります。

○施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
　切らずに行うと感電の危険があります。

目　　次

○各部の名称とはたらき 1

○仕様 4

○結線図 5

○操作方法 6

○故障の早見表 7

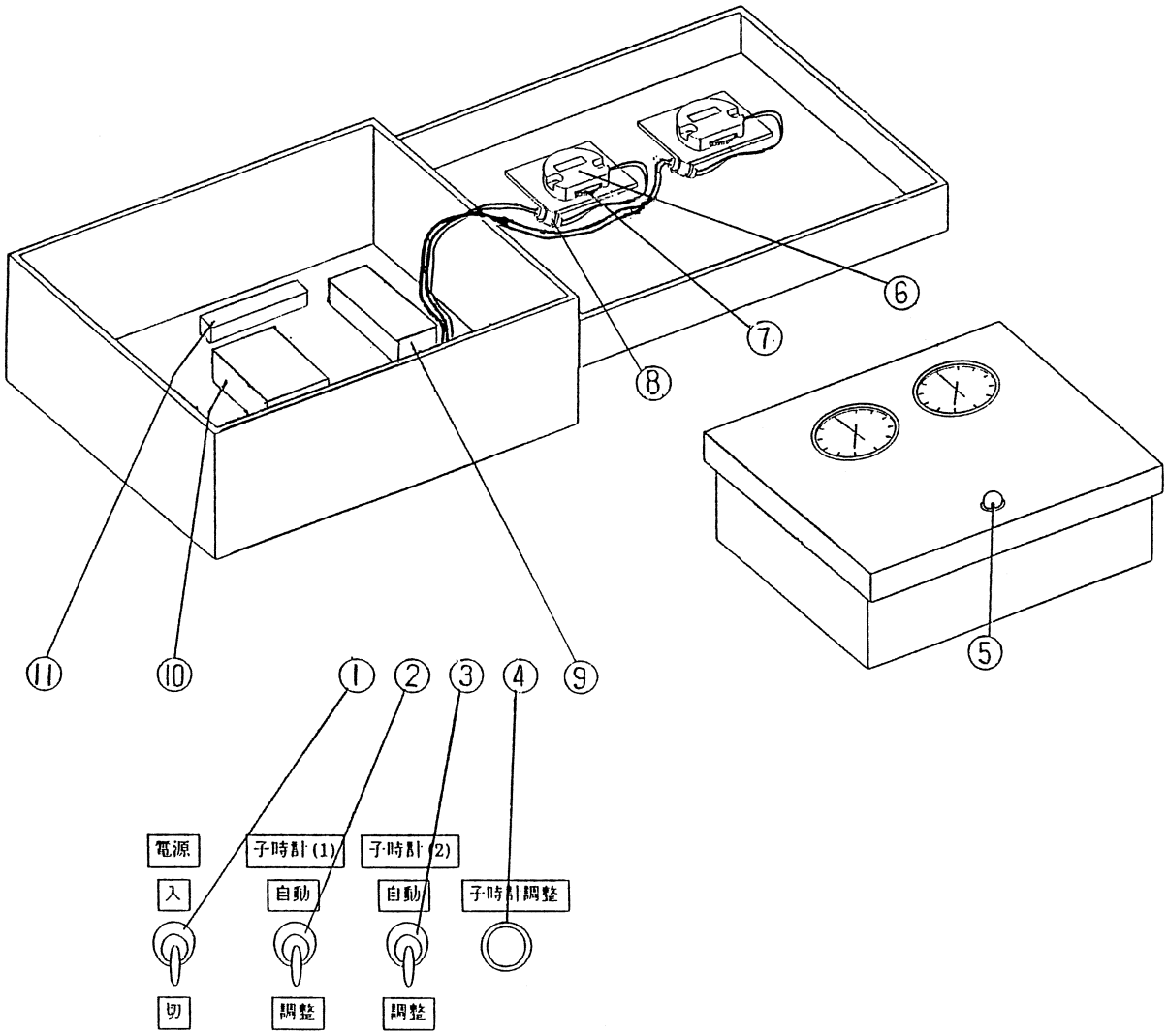
○保守について 8

○補修用性能部品と品番 9

○修理の依頼先 10

○施工編 11

各部の名称とはたらき



電源ボックス操作部拡大図

①電源スイッチ
②自動・調整スイッチ
③自動・調整スイッチ
④子時計調整押釦スイッチ
⑤パイロットランプ
⑥機械体
⑦時刻合せ車
⑧モニター時計接続用コネクター
⑨停電補償用ニッカド電池ボックス
⑩電源ボックス
⑪端子台

① 電源スイッチ

このスイッチではAC100V電源の「入」「切」と内部蓄電池の接続の「入」「切」を同時に行ないます。

② 子時計(1)「自動」－「調整」切換スイッチ

No,1子時計回路の時刻調整スイッチです

「自動」……親時計の信号を受けて増巾された信号を出力します。

「停止」……子時計の出力を「停止」します。

「調整」…… 子時計回線の時刻調整をします。

「調整」側にしますと「子時計調整」の押釦スイッチの入力を受け付けます。

③ 子時計(2)「自動」－「調整」切換スイッチ

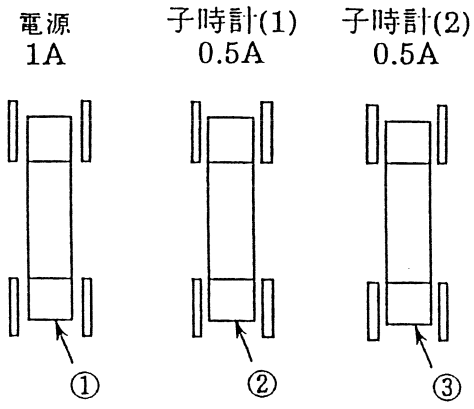
No,2子時計回路の時刻調整スイッチです。

④ 子時計調整押釦スイッチ

②又は③の子時計切換スイッチを「調整」側にしますと、このスイッチの入力を受け付ける状態になります。1回押すと30秒パルスが1パルス出力されます。

ご注意: 連続して押す時には0.5秒以上あけて押して下さい。0.5秒以下の早いタイミングで押しますと子時計回路につながれている子時計が正常に調整できない事があります。

※ヒューズホルダー



① 電源ヒューズ (1A)

② 子時計(1)回線ヒューズ (0.5A)

③ 子時計(2)回線ヒューズ (0.5A)

⑤パイロットランプ

ケース表面にあります。パイロットランプは、AC100V電源が遮断された時に消灯します。

⑥機械体

DC24V有極30秒パルスのムーブメントです。

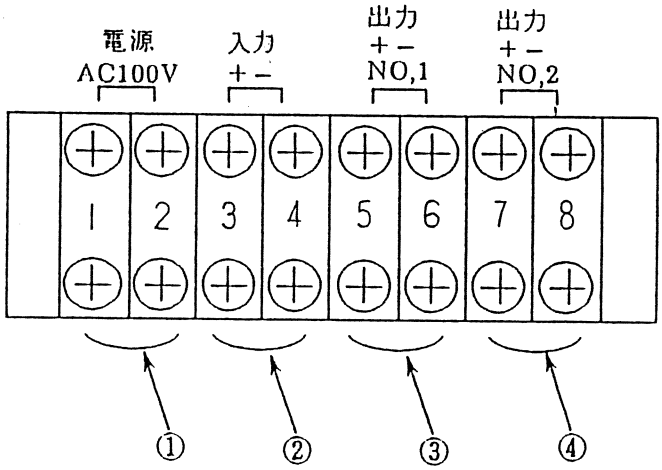
⑦時刻合せ車

⑧モニター時計接続用コネクター

⑨停電補償用ニカド蓄電池ボックス

⑩電源ボックス

⑪端子台



① 入力電源AC100Vを接続して下さい

② 既設親時計からの子時計信号線 (DC24V有極30秒パルス) を接続して下さい。

〔 ⊕⊖の極性がありますので注意して下さい 〕

③ 子時計出力 No,1 の回線を接続して下さい

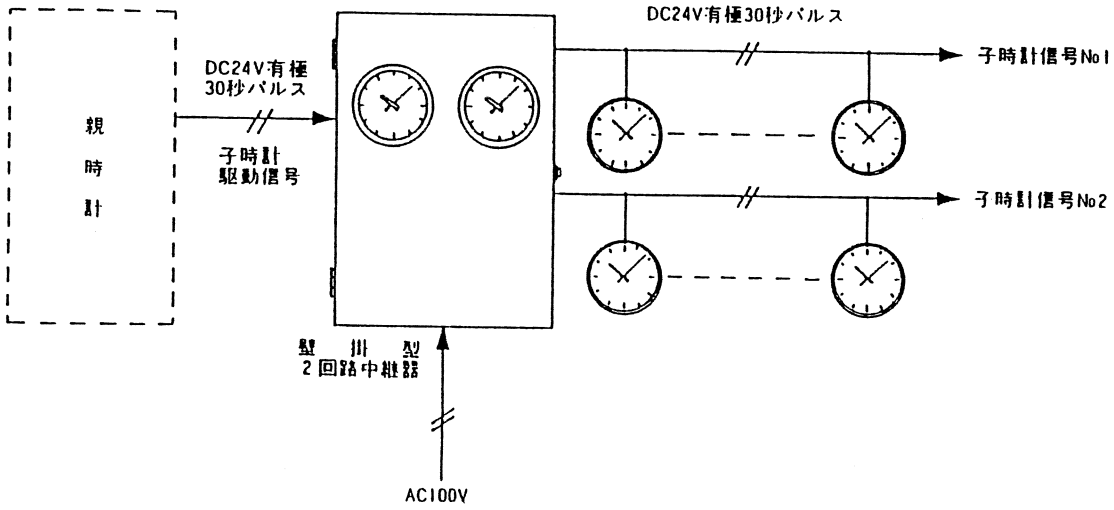
〔 ⊕⊖の極性がありますので注意して下さい 〕

④ 子時計出力 No,2 の回線を接続して下さい

〔 ⊕⊖の極性がありますので注意して下さい 〕

仕　様

(1) 本商品は下図のようなシステム構成によりご使用いただけます。



(2) 定格

入力電源	AC100V±10%　50/60Hz共用　約18VA
入力信号	DC24V±4V　有極30秒パルス
出力信号	DC24V　有極30秒パルス
出力回路数	2回路
駆動子時計数	60個まで(1個12mA・1回路あたり30個まで)
指針動作	30秒運針
停電時予備電源	ニッケルカドミウム蓄電池 (DC24V　450mAh)
停電時動作時間	20時間以上(くり返し可能)
質量(重量)	約6.5kg

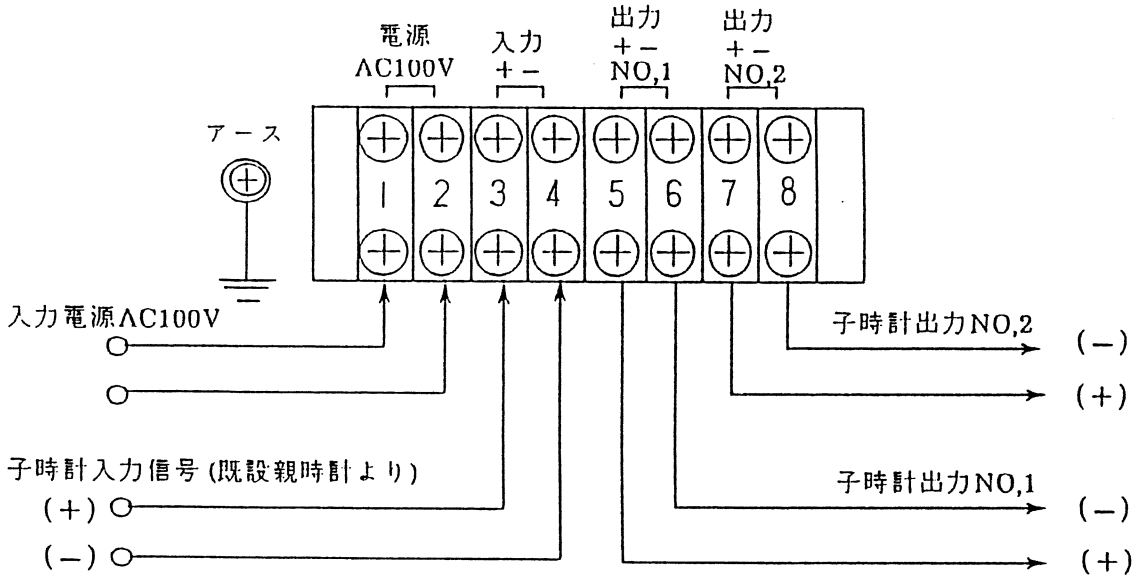
予備品・付属品

ヒューズ (1A) …… 1個

ヒューズ (0.5A) …… 2個

木ネジ　(3.5－25) …… 3本

結線図



6－2. 配線上の注意事項

① アース端子を必らず接地して下さい

② AC100V電源線と信号線を同一配管内に入れないでください。

③ 子時計入力信号 (既設親時計より) は極性 ⊕ ⊖ がありますので必らずチェックして下さい。極性をまちがえますと子時計入力信号を受け付けません。

④ 各配線は地絡がないか必らずチェックして下さい。

6－3. 使用配線

親時計より子時計までの配線の太さは別表によってPVC電線で配線して下さい。

－使用電線太さ (電線はP.V.Cをご使用ください)－

部品名		電線亘長 (片線の長) m									
取付台数	電流(A)	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1,000
5	0.06	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.2mm	1.2mm	1.2mm
10	0.12	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.2mm	1.2mm	1.2mm	1.2mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm
15	0.18	1.0mm	1.0mm	1.2mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	2.0mm
20	0.24	1.0mm	1.2mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	2.0mm	2.0mm	2.0mm
25	0.30	1.0mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm	2.0mm	2.0mm	2.0mm	2.0mm	2.6mm	2.6mm
30	0.36	1.0mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm	2.0mm	2.0mm	2.0mm	2.6mm	2.6mm	2.6mm

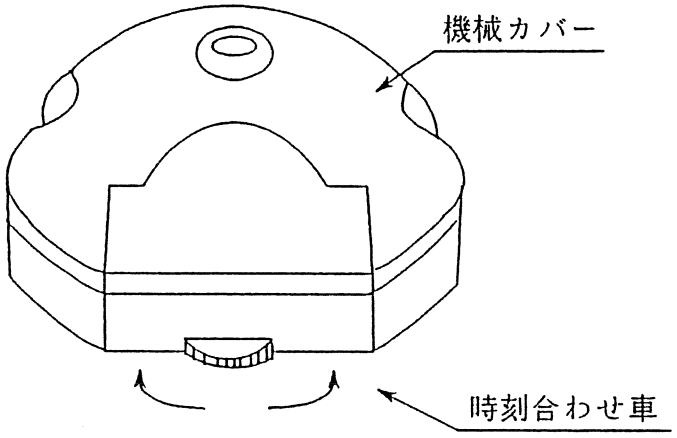
注) ① 上表は電圧DC24Vを基準として、電圧降下4Vとして計算してあります。
② 1回路についての線の太さです。

操作方法

① 電源スイッチを「入」にして下さい

② 子時計(1)(2)の自動－調整切換えスイッチ「調整」側にして下さい。

③ 中継器前面パネルに取付けてあるモニター子時計と各回線につながれている子時計を同一の時刻にして下さい。尚、モニター時計は手動にて早送りする事ができます。下図のムーブの時刻合わせ車を時計方向又は反時計方向に回して合わせて下さい。



ムーブ図

④ モニター時計を見ながら「子時計調整押釦スイッチ」を押し現在時刻に合わせます。押釦スイッチは1回押すごとに子時計は30秒毎に運針します。

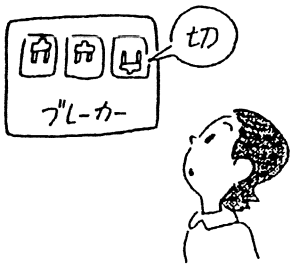
⑤ 現在時刻より1分ぐらい進めて「停止」にして下さい。現在時刻に合いましたら、2～5秒後に「自動」側にして下さい。

※ご注意： 現在時刻と同じになったと同時に「停止」から「自動」側に切換えますと30秒進む事がありますので1秒以上あけて「自動」側にして下さい。

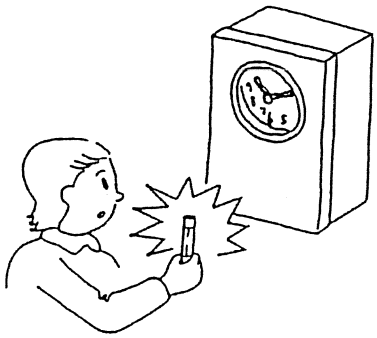
故障の早見表

異常が発生しましたら次の内容についてお調べ下さい。お調べになって異常がなければ販売店にご連絡お願いします。

時計の運針が停止している。

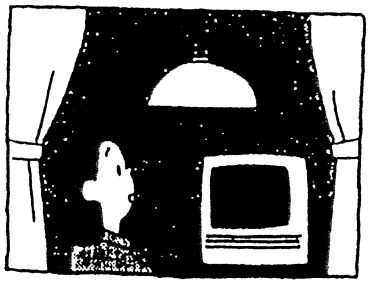


●分電盤の時計専用ブレーカが切れていませんか。

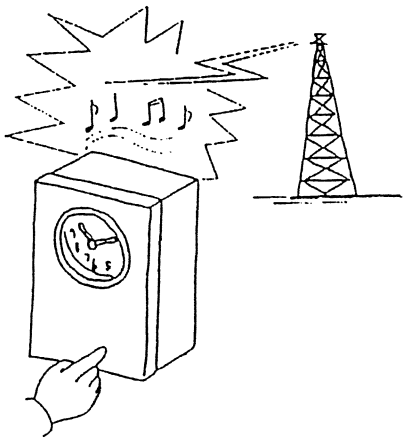


●ヒューズが切れていませんか。

時刻表示が遅れている。



●落雷または電気工事のためＡＣ100Ｖ電源が停電になりませんでしたか。



●１ヶ月に１度は時刻調整をしていただきましたか。

保守について

本商品は常時運転しており、機械的な磨耗も含め定期的なメンテナンスが必要です。
又、下記の使用性能部品にも寿命があります。

○保証期間は1年間です。

本商品の保証期間はお買上げの日(ご使用開始)から1年間となっています。

○定期的メンテナンスの内容

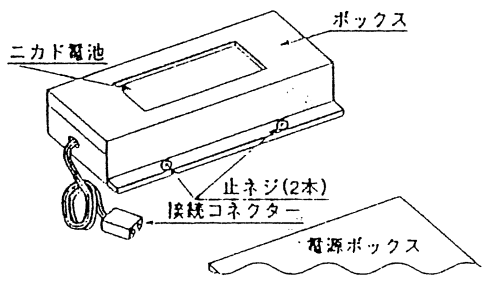
点検内容	期 間	点検方法
端子台の増締め	1年間	端子ネジの増締めしてください (電源を必ず切って実施ください)
時刻調整	3ヶ月	時刻誤差を制御器の「時刻調整スイッチ」で調整してください

○性能部品の平均寿命

下表の部品はメンテナンスが必要ですので交換時期になりましたら、部品取換えを行ってください。

性 能 部 品	平 均 寿 命	使 用 条 件
ニカド電池 (DC 24V、450mAH)	5年	5年間で約300回の停電が発生した場合

○ニカド電池 (TA41232457) の取替方法

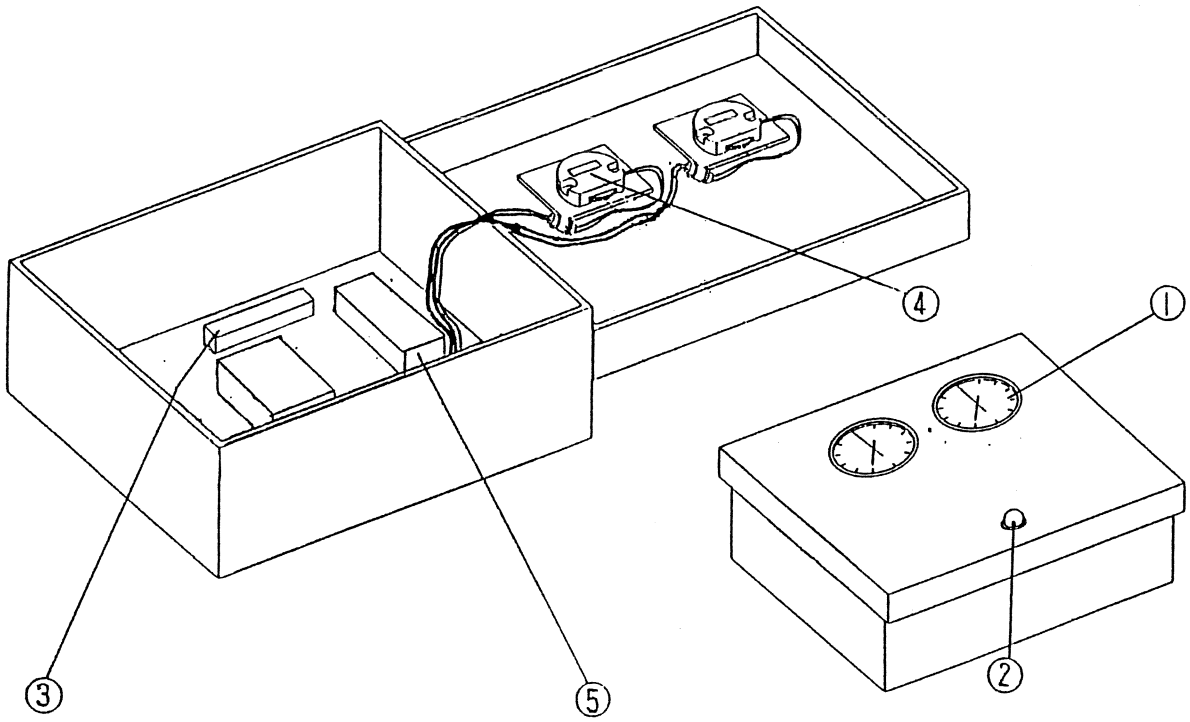


○電源ボックスに接続されている接続コネクターをはずしてください。
○ニカド電池をかぶせてるボックスの止ネジ2本をドライバーではずしてニカド電池を取り出し新しい電池と交換してください。
○その後ボックスをかぶせて止ネジ2本で固定してください。
○接続コネクターを電源ボックスの接続部に確実に差込み接続してください。

Ni-Cd

この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済の電池は、リサイクルへご協力ください。

補修用性能部品と品番



○補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

番号	部品品番	部品名	備考
1	TA41233507	ガラス	
2		パイロットランプ	BN−7
3		端子台	ML-15　8P
4	TR40104037	機械体	
5	TA41232457	ニカド蓄電池	24V　450mAH

アフターサービス　よくお読みください

修理・使いかた・お手入れ などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　(　　)　ー
お買い上げ日　　年　月　日

修理を依頼されるときは
お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	壁掛型２回路中継器
●品　　番	TA5202K
●故障の状況	できるだけ具体的に

●診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊ 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
出張料	技術者を派遣する費用
部品代	部品および補助材料代

＊ 補修用性能部品の保有期間　5年
当社は、この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後5年保有しています。

■相談先がなくお困りの場合は、以下の**お客様ご相談窓口**にご相談ください。

アフターサービス　パナソニックお客様ご相談窓口のご案内

●この製品の修理・部品などのご相談は、まず工事店へお申し付けください。

使いかた・お買い物などのご相談は

パナソニック総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック　お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「640＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）
■上記番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル
0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturday/Sundays/nationalholidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

修理・部品などのご相談は

パナソニック エコソリューションズ　修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック エコソリューションズ　修理ご相談センター
ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-365
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時
ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。
大阪☎06-6906-1090
札幌☎011-261-6401(転)　名古屋☎052-551-7900(転)
東京☎03-5392-7190(転)　福岡☎092-622-0531(転)
※(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は当社負担です。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

※記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では®マークは基本的に明記していません。

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2012

Panasonic®

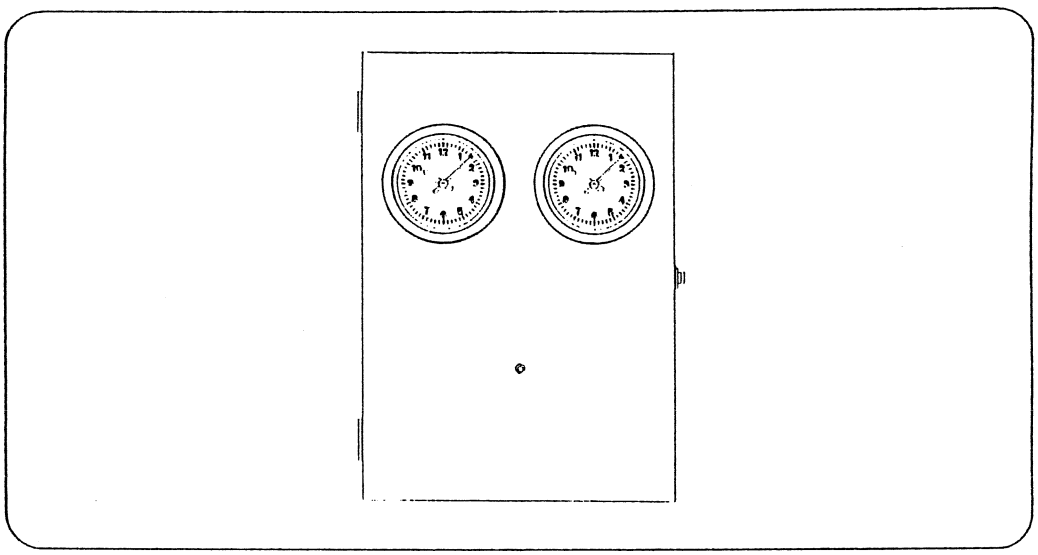
保管用

商品名　**壁掛型2回路中継器**

品　番　**TA5202K**

施工編

工事店様へ：施工前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。



安全上のご注意

⚠ 注意

○交流100V以外では使用しないでください。
感電・火災・故障の原因になります。

○分解や改造をしないでください。
感電・火災・故障の原因になります。

○適正な電線をご使用ください。
不適正な電線の使用は火傷や火災の原因になります。

○端子ねじは確実に締め付けてください。
ゆるみが生じると火災の原因になります。

○水や油のかかる場所には設置しないでください。
感電・火災・故障の原因になります。

○施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
切らずに行うと感電の危険があります。

⚠注意　施工上のご注意

(1)機器取付上の注意事項

○機器の固定には木ネジ（ 3.5×25 ）3本により建築構造物に確実に固定して下さい。指定外のアンカーボルトを使用されますと、地震等で破断し、落下事故につながります。

(2)電源工事上の注意事項

○表示盤及び制御盤へのAC100V入力電源は昼夜使用できる回路に接続して下さい。

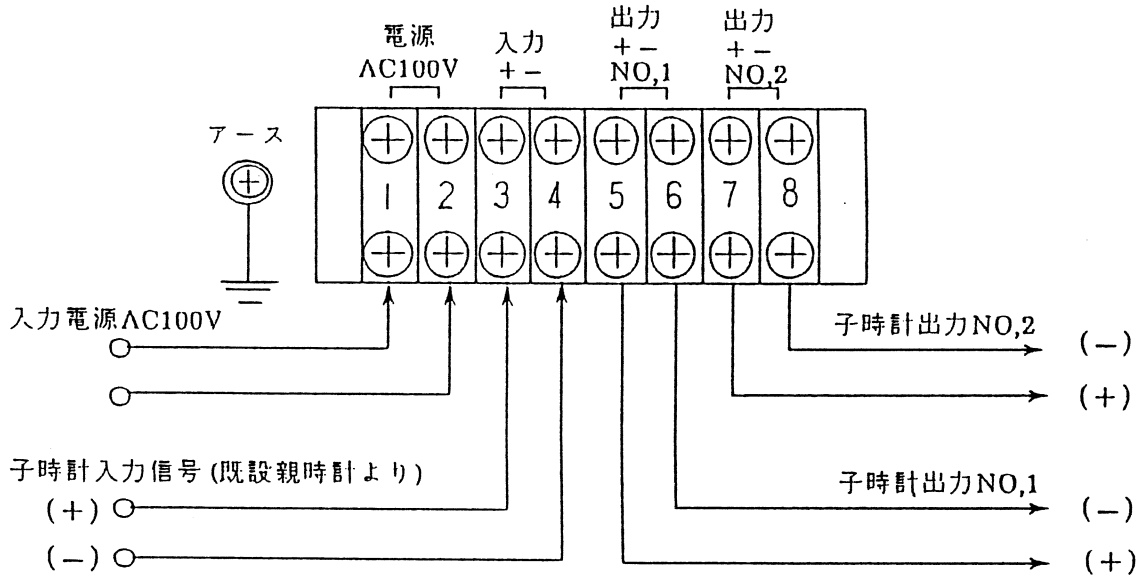
(3)信号配線工事上の注意事項

○子時計入力(＋，－)には極性があります。既設の親時計の極性(＋，－)を確認して接続して下さい。極性が逆になりますと正常に外部同期がかかりません。

(4)停電補償に用いるニカド電池ブロックの接続の注意事項

○停電が発生した時に回路の動作を補償するためのニ　カド蓄電池を内蔵していますが、工場出荷時点ではこの電池のコネクターを外しております。機器への通電(AC100V)をされる前に、ニ　カド蓄電池のコネクターを接続して下さい。

結線図



6−2. 配線上の注意事項

① アース端子を必らず接地して下さい

② AC100V電源線と信号線を同一配管内に入れないでください。

③ 子時計入力信号 (既設親時計より) は極性 ⊕ ⊖ がありますので必らずチェックして下さい。極性をまちがえますと子時計入力信号を受け付けません。

④ 各配線は地絡がないか必らずチェックして下さい。

6−3. 使用配線

親時計より子時計までの配線の太さは別表によってPVC電線で配線して下さい。

−使用電線太さ (電線はP.V.Cをご使用ください)−

部品名		電線亘長 (片線の長) m									
取付台数	電流(A)	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1,000
5	0.06	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.2mm	1.2mm	1.2mm
10	0.12	1.0mm	1.0mm	1.0mm	1.2mm	1.2mm	1.2mm	1.2mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm
15	0.18	1.0mm	1.0mm	1.2mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	2.0mm
20	0.24	1.0mm	1.2mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	2.0mm	2.0mm	2.0mm
25	0.30	1.0mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm	2.0mm	2.0mm	2.0mm	2.0mm	2.6mm	2.6mm
30	0.36	1.0mm	1.2mm	1.6mm	1.6mm	2.0mm	2.0mm	2.0mm	2.6mm	2.6mm	2.6mm

注) ① 上表は電圧DC24Vを基準として、電圧降下4Vとして計算してあります。
② 1回路についての線の太さです。